

# 第 10 回 通常 総会

1995年6月23日(金)

社団法人 人工知能学会

JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE

---



〒162 東京都新宿区津久戸町4-7

OSビル402号室

TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

# 第10回通常総会次第

日 時 1995年6月23日(金) 16時50分～17時50分

場 所 東京工業大学百年記念会館フェライト会議室(東京・大岡山)  
〒152 東京都目黒区大岡山 2-12-1 TEL.03-3726-1111(代)

- 総会次第
1. 開 会
  2. 会長挨拶
  3. 議長選出
  4. 1994年度事業報告
  5. 個人会員などの除名処分
  6. 1994年度決算報告および監査報告
  7. 1995年度事業計画案
  8. 1995年度予算案
  9. 1995年度役員構成案
  10. 1995年度評議員構成案
  11. 閉 会

以 上

# 1994年度事業報告

## 1. 概要

昨年度に引き続き、理事会および各委員会を中心に学会の基盤強化のための諸活動を推進するとともに、第8回全国大会の開催、会誌の隔月発行、研究会活動に重点を置き、学会活動の活発化および会員サービスの充実をはかるとともに会員外へのサービスとしてのセミナーも開催した。

6月20日から4日間にわたり早稲田大学国際会議場で開催した第8回全国大会は、一般論文発表185件、特別セッション論文発表29件、久保田競教授（京都大学霊長類研究所）の特別講演およびトーマス博士（ATR HIP, Univ. of Delaware）の招待講演などで、盛会裡に終了した。

会誌発行は、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとに、各号論文特集、技術特集、解説連載およびAIマップなどのほか、引き続き好調な投稿論文の掲載で会誌の充実をはかった。

研究会活動は、昨年度から第2種としてスタートした「並列人工知能」研究会をくわえた6研究会で、他学会研究会との共催を含め計19回の研究会および合同研究会“AIシンポジウム94”を開催し、研究発表145件、チュートリアル講演14件およびパネル討論2回が行われた。

セミナーは東京および名古屋で合わせて4回開催し、何れも好評であった。

昨年発足したIJCAI-97本委員会も1997年度日本開催のための準備を着々とすすめてある。また、エルゼビア社刊JAI（Journal of Artificial Intelligence）誌特集号掲載の会誌論文選考も引き続き進められるなど海外との連携活動も活発に行われた。

## 2. 会員現況（1995年3月31日現在）

正会員	3,269名
学生会員	417名
名誉会員	5名
賛助会員	96社
特殊購読会員	102団体

## 3. 会誌の発行

### ◇第9巻第3号（通巻45号）

巻頭言、小特集「人工知能技術における計算量」解説4編、一般解説2編、AIマップ1編、論文8編およびその他で構成

### ◇第9巻第4号（通巻46号）

巻頭言、小特集「Soarプロジェクト」解説4編、小特集「遺伝的アルゴリズムの新しい潮流」解説5編、AIマップ1編、論文7編、技術資料1編およびその他で構成

### ◇第9巻第5号（通巻47号）

巻頭言、小特集「並列・分散協調画像理解」解説5編、一般解説2編、AIマップ1編、論文9編およびその他で構成

### ◇第9巻第6号（通巻48号）

巻頭言、小特集「人工知能研究者のためのインターネット活用術」解説5編、小特集「最近の機械学習」解説5編、一般解説3編、論文7編およびその他で構成

### ◇第10巻第1号（通巻49号）

巻頭言、小特集「知識処理応用とデータベース」解説7編、一般解説1編、論文9編、ショートノート1編およびその他で構成

### ◇第10巻第2号（通巻50号）

巻頭言、小特集「コーパスに基づく音声・自然言語処理」解説6編、一般解説1編、論文9編、技術資料1編およびその他で構成

#### 4. 1994年度全国大会（第8回）の開催

チュートリアルを2トラック編成で第1日目に集中し、期間4日間として第8回全国大会を開催した。

- ◇日時 1994年6月20日（月）～23日（木）
- ◇場所 早稲田大学国際会議場
- ◇プログラム構成
  - ・特別講演 「脳とコンピュータ = サルの脳、ヒトの脳とコンピュータ = 」  
久保田 競 所長（京都大学霊長類研究所）
  - ・招待講演 「Artificial Life : Evolution of Digital Organisms」  
Dr. Thomas Ray (ATR HIP, Univ. of Delaware)
  - ・パネルディスカッション 「記号処理とパターン処理」  
司 会 安西 祐一郎氏（慶應義塾大学）  
パネリスト 竹内 郁雄氏（NTT）  
松原 仁氏（電子技術総合研究所）  
大森 隆司氏（東京農工大学）  
北野 宏明氏（ソニー）
  - ・研究会企画などによる特別セッション  
「知識の共有と再利用-オントロジーとその周辺-」  
「実時間人工知能アルゴリズム」  
「音声対話」  
「法律エキスパートシステムと知識表現」  
「土木・建築におけるAIへの期待と課題」  
「自動車と道路の知能化-安全、快適、円滑な交通の実現を目指して-」
  - ・一般講演 発表論文185件
  - ・参加者 682名（内非会員31名、学生177名/論文集購入も含む）
  - ・優秀論文表彰 優秀論文 6編
  - ・チュートリアル講演
    - <Track I 複数知能に向けて>
    - <Track II マルチモーダル情報処理に向けて>
    - 参加者 115名（内非会員4名、学生21名）

#### 5. シンポジウム/ワークショップの開催

##### ◇第12回設計シンポジウム

- 期 日 7月4日（月）～5日（火）
- 場 所 早稲田大学国際会議場
- 共 催 精密工学会（幹事学会）、人工知能学会、日本設計工学会、日本機械学会
- 構 成 一般発表24件、パネルディスカッション
- 参加者 120名

##### ◇JKAW'94

- 期 日 11月7日（月）～9日（水）
- 場 所 日立製作所基礎研究所
- 構 成 招待講演1件論文発表18件デモンストレーション5件
- 参加者 35名（オーストラリア、イギリス、フランス、ベルギー、アメリカの6ヶ国からの参加があった。）

##### ◇マシンインテリジェンスに関する国際ワークショップ1994

- 予定の助成金が入らず今回は、やむなく日本側の参加を見合わせた。 -

#### 6. 研究会の開催

「人工知能基礎論研究会」「ヒューマンインターフェースと認知モデル研究会」「知識ベースシステム研究会」「言語・音声理解と対話処理研究会」「知的教育システム研究会」の5研究会および昨年度から第2種としてスタートした「並列人工知能研究会」を合わせて6研究会が、他の学会との共催を含めて計19回の研究会を開催し、加えて12月に5研究会合同による講演、パネル討論および合同研究発表のプログラムによる第5回合同研究会「AIシンポジウム'94」を開催した。

◇人工知能基礎論研究会

・第19回

日時 1994年6月6日(月) 9時30分~17時

場所 三田出版会・会議室(東京・本郷)

内容 研究発表4件、連続討論講演3件/参加者25名

・第20回

日時 1994年10月3日(月) 9時~17時30分

4日(火) 9時20分~12時

場所 ATRインターナショナル会議室1(京都・精華町)

内容 研究発表8件、連続討論講演4件/参加者39名

・第21回

日時 1995年 3月1日(水) 13時~17時

2日(木) 9時30分~17時

3日(金) 9時30分~17時45分

場所 東京工業大学百年記念会館(東京・大岡山)

内容 研究発表9件、連続討論講演3件/参加者50、チュートリアル講演7件/参加者78名

◇ヒューマンインターフェースと認知モデル研究会

・第22回

日時 1994年5月20日(金) 13時~17時

場所 北海道大学工学部(札幌・北区)

内容 研究発表5件/参加者11名

・第23回

日時 1994年10月12日(木) 13時~17時

場所 富士通研究所岡田記念ホール(川崎・中原)

内容 研究発表5件/参加者20名

・第24回

日時 1995年2月28日(火) 13時~17時

場所 京都工芸繊維大学(京都・左京区)

内容 研究発表5件/参加者16名

◇知識ベースシステム研究会

・第28回

日時 1994年5月28日(金) 9時45分~17時

場所 三田出版会・会議室(東京・お茶の水)

内容 研究発表8件/参加者23名

・第29回

日時 1994年9月19日(月) 10時30分~16時15分

場所 上智大学四ッ谷キャンパス・9号館252室(東京・四ッ谷)

内容 研究発表6件/参加者7名

・第30回

日時 1995年1月20日(金) 9時20分~16時45分

場所 立命館大学琵琶湖・草津キャンパス・コアセンター 3F 第3会議室

内容 研究発表9件/参加者11名

◇言語・音声理解と対話処理研究会

・第8回

日時 1994年6月10日(金) 10時30分~17時

場所 奈良先端科学技術大学院大学・中講義室(奈良県)

内容 研究発表7件/参加者41名

・第9回

日時 1994年10月21日(金) 10時~17時

場所 東京工業大学国際交流会館多目的ホール(東京・大岡山)

内容 研究発表8件/参加者13名

・第10回

日時 1995年2月10日(金) 9時30分~17時30分

場所 早稲田国際会議場3階第1会議室(東京・西早稲田)

内容 研究発表4件/参加者30、チュートリアル/参加者29名

◇知的教育システム研究会

- ・第8回  
日 時 1994年4月22日(金) 10時30分～16時45分  
場 所 機械振興会館 B3-9号室(東京・芝公園)  
内 容 研究発表8件/参加者41名
- ・第9回  
日 時 1994年10月28日(金) 10時～16時50分  
場 所 早稲田大学理工学部55号館第3会議室(東京・大久保)  
内 容 研究発表8件/参加者35名
- ・第10回  
日 時 1995年3月26日(日) 13時～17時30分  
27日(月) 9時～12時  
場 所 文部省共済組合箱根宿白所“青雲荘”(神奈川県・箱根)  
内 容 研究発表8件、パネル討論/参加者39名

◇並列人工知能研究会

- ・第4回  
日 時 1994年4月9日(土)～10日(日)  
場 所 つくば ふれあいの里(茨城・つくば)  
協 賛 ALIFESTA  
内 容 研究発表7件/参加者110名
- ・第5回  
日 時 1994年9月26日(月)  
場 所 富士通(株)川崎工場(川崎)  
内 容 研究発表5件/参加者30名
- ・第6回  
日 時 1995年3月3日(金)  
場 所 ソニー会館(東京)  
内 容 研究発表6件/参加者50名

◇第5回合同研究会“AIシンポジウム'94”

- 日 時 1994年12月1日(木) 9時30分～17時  
2日(金) 9時30分～16時30分
- 場 所 機械振興会館研修-1号室/65号室/67号室(東京・芝公園)
- 内 容 研究発表20件/参加者63、講演4件、パネル討論/参加者59名

7. セミナーなどの開催

◇第25回人工知能セミナー

- ・テーマ：プラント事業におけるAI技術、その現状と展望  
-ニューラルネットワーク、エキスパートシステム、仮想現実感技術、分散協調の実際と課題-
- ・日 時：1994年7月12日(火) 10時～17時
- ・場 所：日本ユニシス(株)赤坂ビル・セミナールーム(東京・赤坂)
- ・協 賛：(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会、(社)テレビジョン学会、  
(社)電気学会、(社)日本原子力学会、(社)日本鉄鋼協会、
- ・プログラム：司 会 土井美和子氏(東 芝)  
「鉄鋼プラントにおけるAI技術」  
- AI技術の実応用事例(ニューラルネットワークなど) -  
松尾 好晃氏(新日本製鐵)  
「運転制御におけるAI技術」  
- エキスパートシステムの運転制御への応用、その理論と実際 -  
河井 研介氏(東 芝)  
「オペレータ向け保守教育・訓練への応用」  
- AI技術とメディア技術・VR技術の統合を目指して -  
西田 正吾氏(三菱電機)  
「次世代原子力プラントの運転高度化とAI」  
- 分散協調による運転の高度化 -  
北村 正晴氏(東北大学)

《パネル討論》

テ ー マ プラントにおけるAI技術の展望  
司 会 北村 正晴氏 (東北大学)  
パネリスト 松尾 好晃氏 (新日本製鐵)  
河井 研介氏 (東 芝)  
西田 正吾氏 (三菱電機)

・参加申し込み：43名

◇第26回人工知能セミナー

- ・テーマ：AIを用いたリエンジニアリングの実際
- ・日 時：1994年9月13日(火) 9時30分～16時45分
- ・場 所：日本電気(株)中央研究所・講堂(川崎市・宮崎台)
- ・協 賛：(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会、(社)テレビジョン学会、(社)電気学会、(社)日本鉄鋼協会、(社)日本機械学会、(社)精密工学会、(社)自動車技術会、(社)日本経営工学会
- ・プログラム：司 会 山之内 徹氏(日本電気・C&C研究所)  
「ビジネスプロセスリエンジニアリングにおけるAIの役割」  
小林 重信氏(東京工業大学教授/人工知能学会理事)  
「BPRの成功事例/失敗事例」  
大浦 勇三氏(ADL, Japan 主席コンサルタント)  
[特別講演]「日本電気の研究開発戦略」  
飯沼 一元氏(日本電気・研究開発技術本部長/  
人工知能学会理事)  
「物流プロセスリエンジニアリングの実際」  
玉川 雅浩氏(ヤマトシステム開発・営業開発部)  
「生産プロセスリエンジニアリングの実際」  
酒井 正氏(ソニー・業務改革推進部)  
「開発プロセスリエンジニアリングの実際」  
山之内 徹氏(日本電気・C&C研究所)

《パネル討論》

テ ー マ リエンジニアリングの展望  
司 会 小林 重信氏  
パネリスト 大浦 勇三氏  
玉川 雅浩氏  
酒井 正氏  
山之内 徹氏

・参加申し込み：108名

◇第27回人工知能セミナー

- ・テーマ：非線形情報処理—重層世界の知能化技術—
- ・期 日：1995年1月23日(月) 9時30分～17時
- ・場 所：日本ユニシス(株)中部支社教育センター(名古屋・伏見)
- ・協 賛：(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会、(社)電気学会、(社)日本ロボット学会、(社)精密工学会、(社)日本機械学会、(社)日本経営工学会
- ・プログラム：司 会 興水 大和氏(中京大学)  
「無秩序と組み合わせ」  
伊藤 英則氏(名古屋工業大学 知能情報システム学科)  
「エージェント」  
西田 豊明氏(奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科)  
「自然言語理解とイメージ」  
伊東 幸宏氏(静岡大学工学部 情報知識工学科)  
「視覚による概念学習」  
谷内田 正彦氏(大阪大学基礎工学部 システム工学科)  
「発想支援」  
堀 浩一氏(東京大学先端科学技術研究センター)

《討論とまとめ》

テ ー マ 「AIにパラダイムシフトは来るのか」  
司 会 福村 晃夫氏(中京大学)

パネリスト

伊藤 英則氏  
谷内田 正彦氏  
西田 豊明氏  
堀 浩一氏  
伊東 幸宏氏

・参加申し込み：63名

◇第28回人工知能セミナー

- ・テーマ：マルチエージェントの実問題への応用
- ・期 日：1995年2月2日（木） 10時 ～ 17時
- ・場 所：日本ユニシス（株）赤坂ビル・セミナールーム（東京・赤坂）
- ・協 賛：（社）情報処理学会、（社）電子情報通信学会、（社）計測自動制御学会、（社）電気学会、（社）精密工学会、（社）テレビジョン学会、（社）自動車技術会、（社）日本機械学会、（社）日本経営工学会

- ・プログラム：司 会 植村 昌俊氏（沖電気工業）  
「海外におけるマルチエージェントシステムの動向」  
石田 亨氏（京都大学）  
「インタラクティブシステムにおけるマルチエージェントの応用例」  
長尾 確氏（ソニーコンピュータサイエンス研究所）  
「通信分野におけるマルチエージェントの応用」  
菅原 俊治氏（NTT基礎研究所）  
「プラント／物流システムにおけるマルチエージェントの応用例」  
卯木 輝彦氏（沖電気工業）  
「知識情報システムとマルチエージェント」  
寺野 隆雄氏（筑波大学）

パネル討論

テ ー マ 「マルチエージェントシステムはどのような問題に向くか」  
司 会 石田 亨氏  
パネリスト 長尾 確氏  
菅原 俊治氏  
卯木 輝彦氏  
寺野 隆雄氏

・参加申し込み：82名

8. 表彰

◇学会論文賞（第9回全国大会の1995年7月26日に表彰の予定）

論文賞規程および論文賞候補選定細則に基づき、会誌第9巻1号～第9巻6号に発表された論文（ショートノート、技術資料を含む）49編を対象に、正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会に審査を経て、下記の3編の著者に論文賞が贈られることになった。

- ・「幾何制約に基づく3次元形状の設計」(Vol. 9, No. 1) 清水周一、沼尾雅之
- ・「言語表現体系の違いに着目した日英機械翻訳機能試験項目の構成」(Vol. 9, No. 4) 池原悟、白井諭、小倉健太郎、宮崎和光、山村雅幸、小林重信
- ・「強化学習における報酬割当ての理論的考察」(Vol. 9, No. 4)

◇研究奨励賞（第5回合同研究会1994年12月1日に表彰）

研究奨励賞規程および同細則に基づき、1993年度の研究発表を対象に、研究会登録会員による推薦および候補選定委員会による審査を経て、下記の6件に研究奨励賞を贈呈した。

- <人工知能基礎論研究会>
  - ・SIG-FAI-9302-1 「多層神経回路網のVC次元（深い回路の場合）」 櫻井彰人
- <ヒューマンインターフェースと認知モデル研究会>
  - ・SIG-HICG-9303-4 「3次元物体の生成、修正や操作に関する対話的概念獲得方法」  
ジュリ A. ティヘリノ、安部伸治、宮里勉、岸野文郎
- <知識ベースシステム研究会>
  - ・SIG-KBS-9303-2 「コンフィギュレーション空間を用いた機構原理検索システム」 村上存
  - ・SIG-KBS-9304-2 「機能モデル記述のためのドメインオントロジーに関する検討」  
笹島宗彦、来村徳信、池田満、溝口理一郎
- <言語・音声理解と対話処理研究会>



- ・SIG-SLUD-9303-2 「ベイジアンネットワークを用いた対話システム：ユーザモデルの推定」  
秋葉友良、田中穂積
- <知的教育システム研究会>
- ・SIG-IES-9303-6 「緊急時運転手順の知的CAIシステムの機能評価」  
横田毅、氏田博士、加藤監治、谷川尚司
- <並列人工知能研究会>
- ・SIG-PPAI-9303-2 「A Massively Parallel Associative Approach  
for Real-Time Spoken Language Translation Systems」  
Kozo OI, Eiichiro SUMITA, Jared SAIA, Osamu FURUSE, Hitoshi IIDA, Tetsuya HIGUCHI

- ◇全国大会（第8回）優秀論文賞の表彰（第8回全国大会1994年6月22日に表彰）  
発表論文185編を対象に、プログラム委員会査読委員の審査を経て、下記の論文6編の著者を表彰した。
- ・論文番号 S1-6 「動的組織再編による実時間協調プランニング」 大沢英一（ソニー）
- ・論文番号 3-2 「動的に拡大するバブル伝播ネットワークによる多項式時間の述語論理仮説推論」  
大沢幸生、石塚満（東大）
- ・論文番号 11-7 「取引履歴公開下での最適取引戦略 自律的エージェント社会の行動規範（I）」  
伊藤昭、矢野博之（通信総研）
- ・論文番号 15-3 「遺伝的アルゴリズムによるパレート最適な決定木集合の生成」  
亀井尚博、山村雅幸、小林重信（東工大）
- ・論文番号 19-5 「データベースからの知識発見とアクティブデータベースシステム技術の融合」  
河野浩之、長谷川利治（京大）、西尾章治郎（阪大）
- ・論文番号 20-5 「Analysing Ill-formed Inputs with Parallel Chart-based Techniques」  
Thanaruk Theeramunkong・Hozumi Tanaka (Tokyo Inst. of Tech.)

#### 9. 共催、協賛、後援などの催し物（1994年度承認分）

次の通り催し物の共催10件、協賛54件、後援17件および会誌掲載30件により、他学協会などと協調して学会活動の活性化および多様化をすすめました。

##### 《共催》

- ◇第4回インテリジェント・システム・シンポジウム  
ーファジィ、AI、ニューラルネット応用技術と新展開ー  
主/共催：(社)計測自動制御学会、他  
期 日：1994年10月20日(木)・21日(金)
- ◇生産スケジューリング・シンポジウム'94ー実践的ロジックの開発に向けてー  
主 催：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会  
期 日：1994年10月11日(火)
- ◇第37回自動制御連合講演会  
主/共催：システム制御情報学会<幹事学会>、他  
期 日：1994年11月16日(水)～18日(金)
- ◇情報シンポジウム  
主 催：日本学術会議ほかの共催  
期 日：1995年1月12日(木)13日(金)
- ◇1995年並列処理シンポジウム(JSP'95)  
主 催：情報処理学会ほかの共催  
期 日：1995年5月15日(月)～17日(水)
- ◇第13回設計シンポジウム(運営委員会委員3名推薦依頼)  
主 催：(社)日本設計工学会  
期 日：1995年
- ◇第38回自動制御連合講演会  
主 催：第38回自動制御連合講演会幹事学会 (社)計測自動制御学会  
期 日：1995年12月4日(月)～6日(水)
- ◇先端計測'95シンポジウム  
主 催：日本学術会議計測工学研究連絡委員会  
期 日：1995年5月17日(水)～18日(木)
- ◇生産スケジューリング・シンポジウム'95  
主 催：システム制御情報学会  
期 日：1995年10月2日(月)

◇第5回インテリジェント・システム・シンポジウム

- 主 催：日本ファジィ学会  
共 催：計測自動制御学会、日本機械学会、電気学会、日本ロボット学会、日本神経回路網学会  
期 日：1995年9月29日(金)～30日(土)

《協賛》

◇THE 3RD PACIFIC RIM INTERNATIONAL CONFERENCE ON ARTIFICIAL INTELLIGENCE (PRICAI'94)

- 主 催：China Computer Federation, Chinese Association of Automation  
期 日：AUGUST, 16-18, 1994  
会 場：BEIJING, CHINA

◇第9回生体・生理工学シンポジウム

- 主 催：(社)計測自動制御学会、他  
期 日：1994年11月29日(火)～12月1日(木)

◇第6回知能ロボットコンテストJAPAN'94

- 主 催：(社)日本ロボット学会、第6回知能ロボットコンテスト実行委員会  
期 日：1994年6月25日(土)・26日(日)

◇7TH WORLD CONFERENCE ON ARTIFICIAL INTELLIGENCE IN EDUCATION (AI-ED 95)

- 主 催：AI-ED Society Executive Committee  
期 日：16th-19th August, 1995

◇次世代情報処理技術国際シンポジウムSYNAPSE'94

- 主 催：(財)千里国際情報事業財団、日本経済新聞社  
期 日：1994年7月18日(月)・19日(火)

◇SICEセミナー「適応制御」

- 主 催：(社)計測自動制御学会  
期 日：1994年9月19日(月)・20日(火)

◇SICEセミナー「現代制御理論入門」

- 主 催：(社)計測自動制御学会  
期 日：1994年10月12日(水)・13日(木)

◇FUZZ-IEEE/IFES'95

- 主 催：国際ファジィ工学研究所、米国電気電子学会、日本ファジィ学会、(財)日本情報処理開発協会  
期 日：1995年3月20日(月)～24日(金)

◇講習会「ファジィ制御ハードウェア」

- 主 催：日本ファジィ学会  
期 日：1994年8月8日(月)

◇第4回設計工学・システム部門講演会

- 主 催：(社)日本機械学会  
期 日：1994年7月6日(水)・7日(木)

◇国際シンポジウム「インフォテック'94」

- 主 催：兵庫県、神戸市、(財)関西情報センター  
期 日：1994年10月11日(水)～13日(木)

◇講習会「ファジィ画像処理」

- 主 催：日本ファジィ学会  
期 日：1994年7月14日(木)

◇シンポジウム「新しいソフト・システムズ・アプローチ-実証主義的方法論を超えて-」

- 主 催：経営情報学会  
期 日：1994年7月13日(水)

◇記号とパターンの統合処理ワークショップ

- 主 催：日本神経回路学会、RWCP記号とパターンの統合ワークショップ委員会  
期 日：1994年11月8日(火)

◇「農業機械の知能化」に関するシンポジウム(第4回)

- 主 催：農業機械学会、日本学術会議農業機械学研究連絡委員会  
期 日：1994年10月5日(水)・6日(木)

◇「知的システムシンポジウム-建築をとりまく知的システムと技術」(第7回)

- 主 催：日本建築学会 情報システム技術委員会 知的システム研究小委員会 人工知能WG ファジィ理論WG  
期 日：1994年10月28日(金)

◇SICEセミナー「生産スケジューリング：実用化のための基礎から応用まで」

- 主 催：(社)計測自動制御学会  
期 日：1994年11月24日(木) 25日(金)

◇FRIEND 21ヒューマン・マシンの協調、規約書発表会

- 主 催：(財)パーソナル情報環境協会

- 期 日：1994年11月4日(金)
- ◇「自律分散システム・シンポジウム」(第6回)  
主 催：(社)計測自動制御学会  
期 日：1995年1月18日(水)19日(木)
- ◇SICEセミナー—ロボスト制御入門—  
主 催：(社)計測自動制御学会  
期 日：1995年1月19日(木)20日(金)
- ◇TDU AI講座(第3回)  
—知能システムの開発をめざす人のエキスパートシステムの基礎からマルチメディアまで—  
主 催：東京電気大学  
期 日：1994年11月8日～12月9日(火&金)
- ◇国際シンポジウム「インフォテック'94」—平成6年度情報化月間行事—  
主 催：兵庫県/神戸市/(財)関西情報センター  
後 援：通商産業省
- ◇第2回人工物工学国内シンポジウム  
主 催：文部省科学研究費 新プログラム「工学を総合化する知的人工物に関する研究」グループ  
東京大学人工物工学研究センター  
期 日：1994年11月21日(月)～22日(火)
- ◇人間生活工学サミット  
主 催：(社)人間生活工学研究センター  
期 日：1995年2月6日(月)・7日(火)
- ◇第21回知能システムシンポジウム  
主 催：(社)計測自動制御学会  
期 日：1995年3月29日(水)・30日(木)
- ◇第55回ロボット利用技術講習会  
主 催：(社)日本ロボット工業会  
期 日：1994年12月1日(木)・2日(金) 東京会場  
12月8日(木)・9日(金) 大阪会場
- ◇第44回システム制御情報講習会「マルチメディア社会—魅力・現状・将来—」  
主 催：システム制御情報学会  
期 日：1995年2月2日(木)3日(金) 大阪  
1995年2月8日(水)9日(木) 東京
- ◇第12回理論プログラミング国際会議(ICLP'95)  
主 催：Association for Logic Programming (ALP)—本部所在地：ロンドン慶応義塾大学環境情報研究所  
期 日：1995年6月13日(火)～17日(土)
- ◇『ソフトウェア/アルゴリズムの権利保護に関する日米シンポジウム—技術者と法律家の対話—』  
主 催：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 ORソフトウェア研究部会および数理計画法研究会  
共 催：東京工業大学 工学部、ジョージ・ワシントン大学 工学応用科学大学院  
後 援：国際交流基金・日米センター
- ◇3次元画像コンファレンス'95  
主 催：3次元画像コンファレンス'95実行委員会 ホログラフィック・ディスプレイ研究会  
期 日：1995年7月6日(木)～7日(金)
- ◇第3回エキスパートシステム国際会議  
主 催：Korean Expert Systems Society International Society for Intelligent Systems  
期 日：1996年2月5日(月)～9日(金)
- ◇第14回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス  
主 催：日本シミュレーション学会  
期 日：1995年6月21日(水)～22日(木)
- ◇第5回ロボットシンポジウム  
主 催：(社)日本ロボット学会  
期 日：1995年5月11日(木)～12日(金)
- ◇システム制御情報イーブニングスクールチュートリアル講座「システム同定入門」  
主 催：システム制御情報学会  
期 日：1995年3月3日(金)～17日(金)の間の5日間
- ◇講習会「ファジィ・ニューロ・カオスの産業応用」  
主 催：日本ファジィ学会  
期 日：1996年1月27日(金)
- ◇International Workshop on Biologically Inspired Evolutionary Systems (BIES'95)  
主 催：日本ファジィ学会  
期 日：1995年5月30日(火)～31日(水)

- ◇講習会「感性情報処理とマルチメディアネットワーク」  
主 催：日本ファジィ学会  
期 日：1995年3月3日（金）
- ◇講習会「カオス応用システム」  
主 催：日本ファジィ学会  
期 日：1995年3月22日（水）
- ◇SICEセミナー「ファジィニューラルネットワークの現状と新たな展開」  
主 催：（社）計測自動制御学会  
期 日：1995年4月21日（金）
- ◇第4回国際ワークショップ「ロボットと人とのコミュニケーション」  
4th IEEE International Workshop on Robot and Human Communication RO-MAN'95  
主 催：RO-MAN'95実行委員会  
期 日：1995年7月5日（水）～7日（金）
- ◇第5回設計工学・システム部門講演会  
主 催：（社）日本機械学会  
期 日：1995年7月10日（月）～11日（火）
- ◇ロボティクス・メカトロニクス講演会'95  
主 催：（社）日本機械学会  
期 日：1995年6月22日（木）～23日（金）
- ◇第19回「ロボット・フィルムフェスティバル」  
主 催：（社）日本ロボット工業会  
期 日：1995年2月15日（水）（東京） 1995年2月24日（金）（大阪）
- ◇「視覚と空間認知への総合的アプローチシンポジウム'95」  
主 催：（株）けいはんな 視覚と空間認知への総合的アプローチ委員会  
後 援：科学技術庁  
期 日：1995年5月26日（金）
- ◇主 催：システム制御情報学会  
期 日：1995年3月3日（金）～17日（金）の間の5日間
- ◇講習会「ファジィ・ニューロ・カオスの産業応用」  
主 催：日本ファジィ学会  
期 日：1996年1月27日（金）
- ◇第13回日本ロボット学会学術講演会  
主 催：（社）日本ロボット学会  
期 日：1995年11月3日（金）～5日（日）の3日間
- ◇第14回バイオメカニズム・シンポジウム  
主 催：バイオメカニズム学会  
期 日：1995年7月21日（金）～23日（日）
- ◇第11回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム  
主 催：（社）計測自動制御学会  
期 日：1995年10月18日（水）～20日（金）
- ◇第5回インテリジェントFAシンポジウム  
主 催：システム制御情報学会  
期 日：1995年7月18日（火）、19日（水）
- ◇Dynamics & Design Conference '95  
主 催：（社）日本機械学会  
期 日：1995年8月21日（月）～24日（木）の4日間
- ◇第3回「運動と振動の制御」国際会議(3rd MOVIC)  
主 催：（社）日本機械学会  
期 日：1996年9月1日（日）～6日（金）
- ◇Computer Graphics Osaka '95展示ならびにシンポジウム  
主 催：（社）日本能率協会  
期 日：1995年6月20日（火）～23日（金）の4日間
- ◇平成7年度計測自動制御学会関西支部講習会 学習の理論と応用—その現状と動向—  
主 催：計測自動制御学会 関西支部  
期 日：1995年6月27日（火）9:20～16:50
- ◇第56回ロボット利用技術講習会  
主 催：（社）日本ロボット工業会  
期 日：東京 1995年4月13日（木）～14日（金）の2日間  
名古屋 1995年4月20日（木）～21日（金）の2日間

## 《後 援》

- ◇言語データ共有計画シンポジウム (LRSI シンポジウム)  
主 催：言語データ共有計画委員会  
期 日：1994年6月30日(木)
- ◇第4回人工現実感とテレグジスタンス国際会議  
主 催：(社)日本工業技術振興協会  
期 日：1994年7月14日(木)・15日(金)
- ◇1995 IEEE ロボテックス・オートメーション国際会議  
主 催：日本学術会議、(社)日本ロボット学会、(社)計測自動制御学会、(社)日本機械学会、  
IEEE Society on Robotics and Automation  
期 日：1995年5月21日(日)～27日(土)
- ◇シンポジウム「新しいソフト・システムズ・アプローチ—実証主義的方法論を超えて—」  
主 催：経営情報学会  
期 日：1994年7月13日(水)
- ◇第54回産業用ロボット利用技術講習会  
主 催：(社)日本産業用ロボット工業会  
期 日：<東京>1994年7月14日(木)・15日(金)  
<大阪>1994年7月21日(木)・22日(金)
- ◇第25回国際会議のための準備セミナー—英語によるプレゼンテーションの実際—  
主 催：(社)日本工学会  
期 日：1994年9月3日(土)・4日(日)
- ◇システム制御情報イブニングスクールチュートリアル講座「線形システム理論」  
主 催：システム制御情報学会  
期 日：1994年9月6日(火)・9日(金)・13日(火)・16日(金)・20日(火)
- ◇セミナー「人工生命／遺伝的アルゴリズム／ニューラルネットとは何か？ その本質に迫る」  
主 催：システム制御情報学会  
期 日：<大阪>1994年9月29日(木)・30日(金)  
<東京>1994年10月4日(火)・5日(水)
- ◇SICE セミナー「ファジィ・AI・ニューロによる非線形制御」  
主 催：(社)計測自動制御学会  
期 日：1994年10月4日(火)
- ◇セミナー「ミクロな構造の計測と検査」  
主 催：センシング技術応用研究会、(社)大阪府技術協会  
期 日：1994年11月18日(金)
- ◇第15回バイオメカニズム学術講演会  
主 催：第15回バイオメカニズム学術講演会実行委員会  
期 日：1994年10月31日(月)・11月1日(火)
- ◇INTERNATIONAL SYMPOSIUM Intellectual Facilitation of Creative Activity  
主 催：科学技術庁  
期 日：1994年11月14日(月)・15日(火)
- ◇平成6年度第2回ORセミナー「モダンヒューリスティックス  
—Neural Network, Genetic Algorithm, Simulated Annealing, Tabu search の基礎から最新動向まで」  
主 催：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会  
期 日：1994年9月5日(月)
- ◇第1回知的システムシンポジウム「建築をとりまく知的システムと技術」  
主 催：(社)日本建築学会・情報システム技術委員会／知的システム研究小委員会／人工知能ワーキング  
グループ／ファジィ理論ワーキンググループ  
期 日：1994年10月28日(金)
- ◇「音声対話シンポジウム」  
主 催：文部省重点領域研究「音声対話」総括班  
期 日：1994年11月24日(木)
- ◇3次元イメージとホログラフィの国際シンポジウム  
主 催：(財)イメージ情報科学研究所  
期 日：1994年11月7日(月)～11日(金)
- ◇第2回アジア学術会議—科学者フォーラム  
主 催：日本学術会議  
期 日：1995年2月6日(月)～9日(木)

## 《会誌掲載》

- ◇手書き数字データベース「ITPT CDROM1配布案内

配布物件：使用済み年賀葉書に記載された3桁の手書き郵便番号をもとにした手書き数字データベース「ITPT CDROM」<無償配布>

- ◇(社)計測自動制御学会30周年記念出版「ニューロ・ファジィ・AIハンドブック」  
編集：(社)計測自動制御学会、出版：(株)オーム社  
その他：人工知能学会会員特別予約
- ◇第7回学協会共通問題に関する討論会要旨  
「学協会は今後いかにあるべきか—学術の国際化と教育・研究現場の変貌への対応—」  
<1994年4月20日(水)鹿島KIビル(東京・赤坂)で開催>
- ◇第10回電気通信普及財団賞論文募集  
主催：(財)電気通信普及財団  
表彰内容：<テレコム社会科学賞>、<テレコムシステム技術賞>、<テレコム社会科学学生賞>  
<テレコムシステム技術学生賞>  
応募締切：1994年9月30日
- ◇平成7年度笹川科学研究助成の募集  
対象領域：人文学、社会科学および自然科学(医学を除く)、または境界領域の研究計画に関するもの  
募集期間：1994年9月1日(木)~10月31日(月)
- ◇平成6年度(財)科学技術融合振興財団助成金の募集  
対象領域：科学技術の融合等に関する調査研究、学会・研究会等、国際交流に対する助成、普及啓発、功労者表彰、その他  
募集期間：1994年10月15日(土)締切
- ◇(財)中山隼雄科学技術文化財団の研究助成費(平成6年度)の募集  
対象領域：「人間と遊び」という視点にたった、①科学技術に関する研究開発、②科学技術に関する学会、研究会、③科学技術に関する国際交流会等とする。  
応募資格：国内の大学、研究所等の非営利の研究機関に所属する研究者または研究者のグループ  
応募期間：1994年10月15日(金)締切
- ◇HCI International '95 in Tokyo 論文投稿のお知らせ —第6回ヒューマン・ファクターに関する国際会議—  
主催：日本人間工学会、計測自動制御学会、情報処理学会、電子情報通信学会、(財)パブリックヘルスリサーチセンター  
日時：1995年7月9-14日
- ◇「生産スケジューリングシンポジウム'94」の開催  
主催：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会  
日時：1994年10月11日(火)
- ◇「国際会議の為の準備セミナー」(第26回)の開催  
主催：(社)日本工学会  
日時：1994年11月25日(金)26日(土)
- ◇「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム(第4回)の開催  
主催：(社)日本工学会  
日時：1994年12月19日(月)
- ◇カラーフォーラムJAPAN'94参加募集文  
主催：カラーフォーラムJAPAN'94  
期日：1994年10月27日(木)~28日(金)
- ◇経営情報学会1994年全国研究発表大会  
主催：経営情報学会  
期日：1994年10月15日(土)~16日(日)
- ◇第37回自動制御連合講演会  
主催：システム制御情報学会ほか  
日時：1995年11月16日(水)~18日(金)
- ◇囲碁ソフト選手権大会のご案内  
主催：(財)科学技術融合振興財団  
日時：1995年2月28日(火)応募の締め切り、対戦3月の予定
- ◇第4回基礎研究の振興と工学教育シンポジウム(一部変更につき再掲要請)  
主催：(社)日本工学会  
日時：1995年12月19日(月)10時~16時50分
- ◇第12回日本ロボット学会学術講演会  
主催：(社)日本ロボット学会  
日時：1995年11月20日(日)~22日(火)
- ◇平成6年学術情報センターシンポジウム  
主催：学術情報センター  
日時：大阪 1994年10月13日(木)10時~16時  
日時：東京 1994年11月16日(水)10時~16時
- ◇「1995年並列処理シンポジウムJSP'95」論文募集

- 主 催：情報処理学会、電子情報通信学会、人工知能学会  
 期 日：1995年5月15日（月）～17日（水）
- ◇第27回国際会議のための準備セミナー -英語によるプレゼンテーションの実際-  
 主 催：（社）日本工学会  
 期 日：1995年2月25日（土）～26日（日）
- ◇シンポジウム'95「明日をめざす科学技術」 -科学技術振興調整費の成果を中心として-  
 主 催：科学技術庁  
 後 援：日本工学会  
 期 日：1995年3月14日（火）～16日（木）
- ◇「放送メディアの論文選奨」 -論文募集の周知依頼について-  
 主 催：日本放送協会、（社）日本民間放送連盟、（社）日本電子機械工業会  
 共 催：（社）テレビジョン学会  
 募集期日：1994年12月～1995年5月末日  
 入選発表：1995年11月中旬
- ◇ISUMA and NAFIPS The Joint Third International Symposium on Uncertainty Modeling and Analysis, and Annual Conference of the North American Fuzzy Information Processing Society  
 Date : Sep. 17 - 20, '95  
 Location : College Park, Maryland, U. S. A.
- ◇International Joint Conference of CFSA/IFIS/SOFT'95 on Fuzzy Theory and Applications  
 Date : Dec. 7 - 9, '95  
 Location : Taipei Taiwan, China
- ◇日本学術振興会王子セミナー  
 募集件数 1996年度分 2件、1997年度分 1件  
 対象 自然科学の全分野  
 応募資格 日本の大学等の学術研究機関に所属する研究者  
 要件 開催費300～1,000円を援助する。～50名程度の参加者（20%以上が外国人）  
 参加者全員が期間中起居をともにするセミナー他に募金を行わないこと  
 申請期間 1995年5月1日～31日（選考結果通知9月頃）
- ◇第28回国際会議のための準備セミナー -英語によるプレゼンテーションの実際-  
 主 催：（社）日本工学会  
 期 日：1995年6月24日（土）～25日（日）
- ◇1995年「工学教育」連合講演会  
 期 日：1995年5月17日（水）9:30～16:30
- ◇高等技術教育フォーラム'95 -これからの産業構造の展開と高等技術教育への要望-  
 期 日：1995年5月31日（水）9:30～17:00  
 主 催：国立高等専門学校協会
- ◇第5回インテリジェント・システム・シンポジウム  
 主 催：日本ファジィ学会  
 期 日：1995年9月29日（金）～30日（土）
- ◇第9回神経情報処理システム国際会議（NIPS'95）  
 主 催：NIPS Foundation  
 期 日：1995年11月27日（月）～12月2日（土）

## 10. 会議

- ◇第9回通常総会  
 6月22日（水）に全国大会会場の早稲田大学国際会議場（東京・西早稲田）で開催出席者661名（委任状を含む）、1993年度事業報告、1994年度事業計画などの議案審議、決裁、引き続き1993年度学会論文賞および1994年度全国大会（第8回）優秀論文の表彰を行った。
- ◇理事会  
 8月を除く各月に計11回開催した。
- ◇1994年度評議員会  
 定例会議を6月21日（火）に開催、当日出席23名、総会議題、学会運営につて審議を行った。
- ◇委員会  
 本年度は、委員会の新設および廃止は無かった。即ち、会誌編集委員会、研究会運営委員会、研究集会審議委員会、企画委員会、全国大会委員会、同プログラム委員会、広報委員会、財務委員会、渉外委員会、総務委員会、

出版委員会、JAI選考委員会、IJCAI-97委員会、同実行委員会がそれぞれ随時開催された。

### 11. 規定など制定・改正・廃止、契約締結、覚書交換および認可など

◇下記の通り規程など制定・改正・廃止が行われた。

- ・会費の徴収および学会機関誌の配布に関する細則 1994年12月16日改正
- ・論文賞規程 11月25日改正
- ・研究奨励賞規程 10月28日改正
- ・研究奨励賞選定細則 12月16日改正
- ・全国大会優秀論文賞規程 1995年 3月24日制定
- ・全国大会優秀論文賞候補選定細則 3月24日制定

◇社団法人人工知能学会・新役員登記(1994/07/21)

◇特許法第30条第1項の規程に基づく学術団体の指定申請(1995/03/13)

### 12. 学会設立10周年記念事業の企画検討

1996年度は学会設立10周年を向かえることになり、これを記念する事業を企画検討した。事業内容としては、10周年記念式典、10周年記念大会、会誌の10周年記念特集号および会誌バックナンバーのCD-ROM化などを検討した。また、この際に、学会の将来ビジョンの策定を目指すこととした。また、会員名簿の改訂版の発行を検討することになった。

以上



# 個人会員などの除名処分について

会費の徴収および学会機関誌の配布に関する細則に基づき、93年度会費およびそれ以前の年度会費未納その他による下記の個人会員120名および賛助会員1社を1994年度末をもって除名いたします。

## 1. 個人会員

・86年度入会	正会員	31名
	学生会員	2名
	小計	33名
・87年度入会	正会員	22名
	学生会員	2名
	小計	24名
・88年度入会	正会員	17名
	学生会員	0名
	小計	17名
・89年度入会	正会員	10名
	学生会員	3名
	小計	13名
・90年度入会	正会員	10名
	学生会員	2名
	小計	12名
・91年度入会	正会員	9名
	学生会員	6名
	小計	15名
・92年度入会	正会員	4名
	学生会員	2名
	小計	6名
・総計	正会員	103名
	学生会員	17名
	合計	120名

## 2. 賛助会員

・86年度入会	1社	1口
---------	----	----

以上

# (社) 人工知能学会 1994年度決算報告書

<1994年4月1日~1995年3月31日>

## 貸借対照表

(1995年3月31日)

### 1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	94,139,360
(1) 現金預金	195,269
現金	11,707,458
預金	66,000,000
定期預金	
(2) 未収金	12,459,633
(3) 担保金	777,000
(4) 貸出金	3,000,000
2. 固定資産	4,564,584
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	98,703,944

### 2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	16,993,438
(1) 前納金	16,575,000
(2) 未払い金	418,438
2. 固定負債	28,684,946
(1) 国際会議積立金	20,000,000
(2) A L T積立金	1,505,946
(3) J K A W積立金	722,000
(4) 退職金引当金	2,000,000
(3) 会費未納分除却引当金	2,357,000
(4) 事務所整備積立金	2,100,000
負 債 合 計	45,678,384

### 3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	35,000,000
(1) 基本財産	35,000,000
2. 剰余金	18,025,560
(1) 次期繰越収支差額	18,025,560
正 味 財 産 合 計	53,025,560

### 4) 合計

負債および正味財産合計	98,703,944
-------------	------------

# 財産目録

(1995年3月31日)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	94,139,360
(1) 現金預金	77,902,727
イ) 現金	
現金手持ち有り高	195,269
ロ) 普通預金	
第一勧業銀行飯田橋支店 (会長口座)	8,348,408
郵便貯金 (会長口座)	410,554
三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,392,309
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座)	637,712
ハ) 振替貯金	
東京振替貯金局	918,475
ニ) 定期預金	
第一勧業銀行飯田橋支店	35,000,000
三菱銀行神楽坂支店	14,000,000
三菱銀行神楽坂支店	15,000,000
定額郵便貯金	2,000,000
(2) 未収金	12,459,633
イ) '94 会費	4,624,000
ロ) '94 会誌別刷り	3,042,000
ハ) 会誌印税	167,760
ニ) 会誌広告料	474,355
ホ) 研究会登録料	764,000
ヘ) 研究会別刷り料その他	121,000
ト) セミナー参加料その他	6,000
チ) NACSIS登録料	234,788
リ) ハンドブック	39,800
ル) '93 以前の会費その他	2,985,930
(3) 担保金	777,000
イ) 郵便物受取人払い担保金	777,000
(4) 貸出金	3,000,000
イ) 全国大会運営費	2,000,000
ロ) I J C A I ' 9 7 運営費	1,000,000
2. 固定資産	4,564,584
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	98,703,944

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	16,993,438
(1) 前納金	16,575,000
イ) 95年度入会金	84,000
ロ) 95年度会費	16,107,000
ハ) 研究会登録料	384,000
(2) 未払金	418,438
イ) 会誌発行費	0
ロ) 会誌別刷り印刷費	418,438
2. 固定負債	28,684,946
イ) 国際会議積立金	20,000,000
ロ) A L T 積立金	1,505,946
ハ) J K A W 積立金	722,000
ニ) 退職金引当金	2,000,000
ホ) 会費未納分除却引当金	2,357,000
ヘ) 事務所整備積立金	2,100,000
負 債 合 計	45,678,384
正 味 財 産	53,025,560
合 計	98,703,944

# 〔1〕 1994年度決算収支の部

(自1994年4月1日、至1995年3月31日)

## 1) 収入の部

科目	予算額	実算額	差引額
基本財産運用	770,000	770,000	0
入会金収入	590,000	419,000	▲171,000
正会員入会金	440,000	308,000	▲132,000
学生会員入会金	150,000	111,000	▲39,000
会費収入	55,544,000	53,966,000	▲1,578,000
正会員会費	35,530,000	34,400,000	▲1,130,000
学生会員会費	2,024,000	1,816,000	▲208,000
賛助会員会費	16,400,000	16,160,000	▲240,000
特殊講読会員会費	1,590,000	1,590,000	0
事業収入	32,340,000	37,116,362	4,776,362
会誌別刷料	11,016,000	13,747,500	2,731,500
会誌印税	1,008,000	1,006,560	▲1,440
全国大会参加費他	8,920,000	8,639,390	▲280,610
セミナー参加費	3,960,000	5,056,000	1,096,000
会誌等の頒布代	805,000	1,251,700	446,700
研究会登録料、他	6,281,000	6,862,712	581,712
その他	350,000	552,500	202,500
雑収入	2,670,000	2,483,080	▲186,920
会誌広告料	1,260,000	1,829,835	569,835
郵送料他	60,000	70,000	10,000
受取利息	1,350,000	575,878	▲774,122
その他	0	7,367	7,367
引当金取崩収入	0	2,448,787	2,448,787
退職金引当金	0	2,448,787	2,448,787
当期収入合計	91,914,000	97,203,229	5,289,229
当期繰越収支差額	16,142,371	16,142,371	0
収入合計	108,056,371	113,345,600	5,289,229

## 2) 支出の部

科目	予算額	実算額	差引額
事業費	52,303,000	52,956,340	653,340
会誌発行費	31,623,000	33,547,393	1,924,393
会誌別刷印刷費	2,592,000	2,441,336	▲150,664
会誌執筆謝礼	510,000	507,971	▲2,029
会誌発行諸経費	1,400,000	1,117,344	▲282,656
全国大会開催費	7,770,000	7,348,504	▲421,496
セミナー開催費	2,448,000	1,940,197	▲507,803
研究会他開催費	4,940,000	5,319,638	379,638
広報活動費	300,000	43,187	▲256,813
表彰費	120,000	176,340	56,340
会議費	600,000	514,430	▲85,570
管理費	32,425,000	31,642,268	▲782,732
家賃	3,508,000	3,036,234	▲471,766
共益費	482,000	482,040	40
光熱費	330,000	322,476	▲7,524
リース料他	1,420,000	1,680,574	260,574
機械修理費	40,000	44,877	4,877
什器備品費	50,000	0	▲50,000
会議費	950,000	904,286	▲45,714
旅費交通費	200,000	194,360	▲5,640
通信費	3,400,000	3,241,318	▲158,682
印刷費	1,300,000	1,028,556	▲271,444
消耗品費	1,600,000	1,664,182	64,182
倉庫管理費	450,000	485,932	35,932
給料手当等	15,060,000	14,905,917	▲154,083
臨時雇用費	1,500,000	1,267,390	▲232,610
支払い手数料	50,000	59,915	9,915
雑費	200,000	466,781	266,781
資料購入費	25,000	27,760	2,760
研修費	20,000	0	▲20,000
諸会費	85,000	89,900	4,900
OA強化費	100,000	125,350	25,350
会費引落経費	100,000	92,185	▲7,815
保険料	5,000	3,800	▲1,200
福利厚生費	1,550,000	1,518,435	▲31,565
退職金	400,000	3,193,432	2,793,432
退職金引当金	0	2,448,787	2,448,787
予備費	400,000	400,000	0
退職金不足額	0	344,645	344,645
積立金繰入れ支出	3,500,000	5,200,000	1,700,000
国際会議積立金	1,500,000	1,500,000	0
事務所整備積立金	200,000	200,000	0
退職金引当金	300,000	2,000,000	1,700,000
会費未納除却分引当金	1,500,000	1,500,000	0
会費等未納分除却支出	0	2,328,000	2,328,000
会費等未納分除却損	0	2,328,000	2,328,000
当期支出合計	88,628,000	95,320,040	6,692,040
次期繰越収支差額	19,428,371	18,025,560	▲1,402,811
支出合計	108,056,371	113,345,600	5,289,229

注：当期収支差額は 1,883,189 円である。

## 〔2〕正味財産増減計算の部

(自1994年4月1日～至1995年3月31日)

### 1) 増加の部

科 目	実 算 額
当期収支差額 当期増減差額	1,883,189
増加額合計	1,883,189

### 2) 減少の部

科 目	実 算 額
当期収支差額 当期増減差額	
減少額合計	

### 3) 合計の部

科 目	実 算 額
当期正味財産増加額 前期繰越正味財産額	1,883,189 51,142,371
期末正味財産合計額	53,025,560

# 監査報告書

1995年5月24日

(社)人工知能学会

会長 堂下 修司 殿

監事 穂本 能彬

田中 千代治



1994年度決算報告書について厳正に監査しました結果、適正に処理され妥当であることをご報告いたします。

以上

# 1995年度事業計画

## 1. 運営・活動方針

定款の目的に沿って、会誌の隔月発行、全国大会（第9回）、国際会議、研究会、セミナー、講演会の開催、ワークショップなどの研究活動の推進、学会論文賞、研究奨励賞および全国大会優秀論文の表彰ならびに他学協会および海外関連団体との協調により学会活動の活発化、多様化を推進するとともに、引き続き組織基盤の強化に努めて会員サービスの充実をはかる。

研究会活動は、一昨年度発足した並列人工知能研究会（第2種）を含めた6研究会でさらに活発化、充実をはかり、人工知能セミナーは昨年同様4回開催する。

国際活動の一環として、IJCAI-97開催にむけて本委員会を中心とした具体的準備作業、PRICAI-96への委員の選任と諸準備作業、エルゼビア社刊JAI（Journal of Artificial Intelligence）誌特集号発行のための会誌論文選考、海外における人工知能関連シンポジウム、ワークショップ開催の協賛などの協調活動を推進する。

なお、来年度の学会設立10周年に向けて記念事業の準備作業に着手する。

## 2. 会誌の発行

- ◇第10巻第3号（通巻51号）1995年5月1日発行  
特集「コンピュータによる学習支援」、論文特集「コンピュータによる学習支援」、解説、AIマップ、論文5編、ショートノート、他
- ◇第10巻第4号（通巻52号）1995年7月1日発行  
小特集「アクティブビジョン」、解説、論文12編、ショートノート、他
- ◇第10巻第5号（通巻53号）1995年9月1日発行  
特集「エージェントの基礎と応用」、解説、AIマップ、論文7編、他
- ◇第10巻第6号（通巻54号）1995年11月1日発行  
小特集「コンピュータゲーム」、解説、AIマップ、論文11編、他
- ◇第11巻第1号（通巻55号）1996年1月1日発行  
小特集「知的メディア検索技術の動向」、解説、AIマップ、論文7編、他
- ◇第11巻第2号（通巻56号）1996年3月1日発行  
特集「情報統合（に関する特集）」、解説、AIマップ、論文X編、他

## 3. 全国大会（第9回）の開催

- ・期 日 1995年7月24日（月）～27日（木）
- ・場 所 学習院大学・記念会館（東京・目白）
- ・構 成 特別講演「計算機による物質の設計と現象の解明」  
上村洸教授（東京理科大学）  
招待講演「教授と理解、発見と創造の相互作用—新しい教育支援に向けて—」  
大槻説乎教授（九州工業大学）  
パネルディスカッション「人工知能と人工生命」  
特別セッション  
「メディアと認知科学」（研究会企画）  
「説明生成」（研究会企画）  
「エンターテインメントとAI」（研究会企画）  
「ものづくりの未来とAI」（応用）  
「マルチメディアとAI」（応用）  
「新重点領域研究とAI」（応用）  
一般応募講演 161件  
チュートリアル



- トラックⅠ 「人工知能入門」
- トラックⅡ 「創発システム」
- トラックⅢ 「マルチメディアとネットワーク」

#### 4. シンポジウム／ワークショップの開催

##### ◇第13回設計シンポジウム

期日 1995年7月12日(水)・13日(木)  
 場所 東京都立大学国際交流会館 大会議室(東京・八王子)  
 共催 日本設計工学会(幹事学会)、人工知能学会、精密工学会、日本機械学会  
 構成 記念講演、論文発表

##### ◇マシンインテリジェンスに関する国際ワークショップ1995

期日 1995年7月26日～28日  
 場所 オックスフォード(英国)  
 共催 Turing Institute  
 後援 Daiwa Foundation  
 構成 論文発表

##### ◇第6回計算論的学習理論国際ワークショップ'ALT'95

期日 1995年10月18日(水)～20日(金)  
 場所 福岡リーセントホテル(福岡・箱崎)  
 主催 人工知能学会、九州工業大学、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター  
 構成 招待講演、論文発表

#### 5. 研究会の開催

1995年度の研究会活動は、1994年度と同じく通常の5研究会および第2種の1研究会で行う。

##### ◇人工知能基礎論研究会(略称:SIG-FAI)

主査 石田 亨  
 幹事 大沢 英一、赤埴 淳一、麻生 英樹  
 内容 論理、推論、学習、知識の表現と獲得、並列計算モデル、知的プログラミング、自然言語処理パターン理解などに関する人工知能としての基礎的研究  
 開催予定 第22回 1995年6月26日(月) 東京 一般、連続討論  
 第23回 1995年9月19日(火) 北陸先端科学技術大 一般、連続討論  
 第24回 1996年3月 つくば 一般、連続討論、ETL見学

##### ◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会(略称:SIG-HICG)

主査 田中 譲  
 幹事 野々垣 旦、伊東 幸宏、吉田 敦也、野口 孝文  
 内容 ヒューマンインタフェース設計論、対話モデル、認知モデル(知覚、記憶、思考、学習、言語)、人間と機械との協調問題解決、計算機支援による応用システム(エキスパートシステム、CAD、CAI、OAなど)のヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの評価技術、ヒューマンインタフェース向きアーキテクチャ、メタファ  
 開催予定 第25回 1995年5月19日(金) 北大 メディアと認知科学  
 第26回 1995年9月 京都工芸繊維大 CAIと認知科学  
 第27回 1996年3月 浜松 静岡大 思考とツール

##### ◇知識ベースシステム研究会(略称:SIG-KBS)

主査 元田 浩  
 幹事 寺野 隆雄、末田 直道、堀 雅洋  
 内容 知識ベースシステム方法論(人工知能ツール、知識モデリング、知識共有・再利用など)、環境(AI言語、AI向きアーキテクチャ、AIワークステーションなど)、人工知能技法(知識表現、推論、学習、知識獲得など)、人工知能応用(エキスパート・システム、知的設計支援、ソフトウェア開発支援、知的データベース、知的制御、パタン情報処理、自然言語処理応用など)  
 開催予定 第31回 1995年5月23日(火) 上智大 一般演題

第32回 1995年9月18日(月)19日(火) 筑波大大塚CAMP. CBR特集、招待講演  
 第33回 1996年1月 関西(場所未定) 一般演題

◇言語・音声理解と対話処理研究会(略称:SIG-SLUD)

主査 市川 熹  
 幹事 河原 達也、竹沢 寿幸、徳永 健伸、山本 幹雄  
 内容 音声対話モデル、自然言語理解、自然言語処理、音声処理、音声言語処理、計算言語学、確率・統計的手法応用、コミュニケーション・モデル、マルチモーダルインタフェース、マルチメディアインタフェース技術、インタラクティブ・システム、ユーザモデリング、意図理解、心理モデル、社会言語学、ソフトウェア・アーキテクチャ

開催予定 第11回 1995年6月5日(月) 電総研 演題  
 第12回 1995年10月6日(金) 京大またはATR 一般演題  
 第13回 1996年2月9日(金) 筑波大 大塚CAMP.  
 一般演題、招待講演、チュートリアル

◇知的教育システム研究会(略称:SIG-IES)

主査 溝口理一郎  
 幹事 渡辺 成良、池田 満  
 内容 学習モデル、教授と学習、教育システムの要素技術(高次推論、認知モデル、感性・情緒モデル、マシンラーニング、対話モデル、対話技術など)、知的教育システムの設計・実現、発見的環境の構築技術、教育とメディア技術、など。

開催予定 第11回:1995年4月21日(金) 東京理科大 神楽坂校舎  
 グループ学習(CSCL)および一般研究発表  
 第12回:1995年10月 (場所未定) プラント運転員の訓練および一般研究発表  
 第13回:1996年3月 (場所未定) (未定:合宿方式)

◇並列人工知能研究会(略称:SIG-PPAI)

主査 北野 宏明  
 幹事 奥乃 博、佐藤 理史、丸山 文宏  
 内容 並列人工知能、超並列人工知能、遺伝的アルゴリズム、ニューラルネットワーク、記憶に基づく推論、並列学習、並列マシン、大規模計算

開催予定 第7回 1995年9月18日(月) 北陸先端大 テーマ:未定  
 第8回 1996年2月 (場所未定) テーマ:未定

◇第6回合同研究会“AIシンポジウム'95”(略称:SIG-J)

日時 1995年12月7日(木)8日(金)  
 場所 東京・機械振興会館研修1&2号室  
 テーマ AIチャレンジ95:日本発-世界へ

6. セミナーの開催

・セミナーを年度内に4回開催する。

◇第29回人工知能セミナー

・テーマ:データベースからの知識発見  
 ・期日:1995年7月4日(火)10時~17時15分  
 ・場所:日本ユニシス(株)赤坂ビル・セミナールーム(東京・赤坂)  
 〒107 東京都港区赤坂 2-17-51 TEL.03-5546-4111(代)(内線1673)  
 ・協賛予定:(社)情報処理学会、(社)電子情報通信学会、(社)計測自動制御学会、(社)電気学会、  
 (社)精密工学会、(社)テレビジョン学会、(社)自動車技術会、(社)日本機械学会、  
 (社)日本経営工学会

◇プログラム:司会 松田 純一氏(日立製作所)

「データベースからの知識発見の現状と動向」  
 河野 浩之氏(京都大学)  
 「データベースからの関数依存性の発見」  
 高須 淳宏氏(学術情報センター)  
 「米国におけるデータマイニングの先端的活用事例」  
 大浦 勇三氏(ADL, Japan)  
 「遺伝子情報からの知識の発見」  
 宮野 悟氏(九州大学)

「製造業におけるデータマイニングの応用」

前田 章氏 (日立製作所)

「流通業におけるデータマイニングの応用」

森下 真一氏 (日本アイ・ピー・エム)

◇第30回人工知能セミナー

- ・テーマ: マルチメディア通信時代におけるAI
- ・協賛予定: (社) 情報処理学会, (社) 電子情報通信学会, (社) 計測自動制御学会, (社) 精密工学会, (社) テレビジョン学会, (社) 電気学会, (社) 日本機械学会, (社) 自動車技術会, (社) 日本経営工学会
- ・日時: 1995年9月27日(水) 9:30~17:30
- ・場所: NTT 武蔵野研究開発センタ講堂  
〒180 武蔵野市緑町3-9-11
- ・プログラム: 司会 飯田 敏幸氏 (NTTコミュニケーション科学研究所 主幹研究員)  
「NTTのマルチメディア通信に対する取り組み」  
中村 直司氏 (NTT情報通信研究所 所長)  
「マルチメディア通信時代におけるワークスタイル」  
松下 温氏 (慶応義塾大学理工学部 教授)  
「放送サービスのインテリジェント化」  
福井 一夫氏 (NHK放送技術研究所 主任研究員)  
「究極のマルチメディア通信サービスを目指して」  
山崎 泰弘氏 (ATR音声翻訳通信研究所 社長)  
「マルチメディア通信時代のアミューズメント」  
中村 繁一氏 (株式会社ナムコ 専務取締役)  
「インターネットは世界をこう変える」  
村井 純氏 (慶応義塾大学環境情報学部 助教授)

◇第31回人工知能セミナー

- ・テーマ: 先進的教育・訓練環境—高速ネットワーク、マルチメディア、グループ学習を巡って—
- ・協賛予定: (社) 情報処理学会, (社) 電子情報通信学会, (社) 計測自動制御学会, (社) 精密工学会, (社) テレビジョン学会, (社) 電気学会, (社) 日本機械学会, (社) 自動車技術会, (社) 日本経営工学会
- ・日時: 1996年1月23日(火)
- ・場所: 日本ユニシス大阪教育センター (大阪・堂島)

◇第32回人工知能セミナー

- ・テーマ: 検討中
- ・日時: 1996年2月6日(火)
- ・場所: 日本ユニシス(株) 赤坂ビル・セミナールーム (東京・赤坂)  
〒107 東京都港区赤坂 2-17-51 TEL.03-5546-4111 (代) (内線1673)

7. 表彰

1995年度発行の会誌掲載論文、ショートノート、技術資料を対象とした学会論文賞の表彰、1994年度開催の研究会発表を対象とした研究奨励賞の表彰および全国大会(第9回)発表優秀論文の表彰を行う。

8. 関連学協会との共催、協賛など

昨年度に引き続き、他学協会との協調により学会活動の活性化、多様化を推進する。本学会が共催/協賛/後援する関連学協会の本年度開催の催し物は、共催6件、協賛21件(4月1日現在)である。

9. 総会・評議員会・理事会・委員会

◇総会

通常総会(第10回)を6月23日開催。

◇評議員会

定例会議を通常総会開催に合わせて6月23日に開催。

◇理事会

毎月1回開催。(ただし、8月は休会)

◇委員会その他

会誌編集委員会、研究会運営委員会、研究集会審議委員会、企画委員会、1995年度全国大会委員会、同プログラム委員会、1996年度全国大会(第10回)開催準備のための大会委員会、同プログラム委員会、広報委員会、財務委員会、渉外委員会、総務委員会、出版委員会、JAI選考委員会、IJCAI-97委員会、同実行委員会をそれぞれ随時開催する。

## 10. 学会設立10周年記念事業の企画検討

1996年度は学会設立10周年を向かえることになり、これを記念する事業を企画検討する。

◇10周年記念式典

・1996年6月に予定している全国大会に時期と場所を合わせて行う。

◇10周年記念大会

・1996年6月に全国大会を10周年記念大会として東京にて開催する。

◇会誌の10周年記念特集号

・1996年5月号(第11巻第3号)を10周年記念特集号として発行する。

国内外の研究者等による随想の執筆・座談会の開催・学会10年の歩み等記念号としてふさわしい内容を盛り込む予定。

◇10周年記念論文の募集

・第10巻第3号に詳細を会告済み。

◇会誌バックナンバーのCD-ROM化

・過去10年分の会誌のCD-ROM化を予定し、製作・配布・販売方法等検討する。

◇学会の将来ビジョンの策定

・過去10年を振り返りその成果を踏まえ今後10年を展望して、ワーキンググループによる学会の将来ビジョンの策定を進める。

◇10周年記念セミナー

・1996年9月に最新の学会の研究成果を踏まえた内容を盛り込んだプログラムで実施を予定する。

◇表彰制度の見直し

・既存の表彰制度に加えて、学会活動に著しい功勞の有った人および人工知能分野における学術的・技術的に著しい功績の有った人に対する表彰制度の設定を検討する。

◇その他

・若手による電子メール討論会や会員名簿の改訂版・発行を検討する。

## 11. 1995年度役員構成(案)

別紙参照

## 12. 1995年度評議員構成(案)

別紙参照

以上

# 1995年度予算書

(自1995年4月1日～至1996年3月31日)

## 1) 収入の部

科 目		予 算 額	前年度予算額	対前年度差異	備 考
基本財産運用		770,000	770,000	0	
入 会 金	正会員入会金	308,000	440,000	▲132,000	154名
	学生会員入会金	111,000	150,000	▲39,000	111名
	小 計	419,000	590,000	▲171,000	
会 費 収 入	正会員会費	32,070,000	35,530,000	▲3,460,000	3,269名
	学生会員会費	1,704,000	2,024,000	▲320,000	417名
	賛助会員会費	15,600,000	16,400,000	▲800,000	96社 197口
	特殊購読会員会費	1,950,000	1,590,000	360,000	102団体
	小 計	51,324,000	55,544,000	▲4,220,000	
事 業 収 入	会誌別刷料	14,958,000	11,016,000	3,942,000	投稿論文増傾向
	会誌印税	1,006,560	1,008,000	▲1,440	
	全国大会参加費他	8,400,000	8,920,000	▲520,000	
	セミナー参加費	4,806,000	3,960,000	846,000	
	会誌など頒布代	750,000	805,000	▲55,000	
	研究会登録料、他	6,013,500	6,281,000	▲267,500	
	その他	700,000	350,000	350,000	データ登録料
	小 計	36,634,060	32,340,000	4,304,060	
準備金	事務所整備費引当金	2,100,000	0	2,100,000	
取崩し	小 計	2,100,000	0	2,100,000	
雑 収 入	会誌広告料	1,710,000	1,260,000	450,000	
	郵送料他	145,000	60,000	85,000	
	受取利息	554,000	1,350,000	▲796,000	
	小 計	2,409,000	2,670,000	▲261,000	
当期収入合計		93,656,060	91,914,000	1,752,060	
前期繰越収支差額		18,025,560	16,142,371	1,883,189	
収 入 合 計		111,681,620	108,056,371	3,625,249	

## 2) 支出の部

科 目		予 算 額	前年度予算額	対前年度差異	備 考
事 業 費	会誌発行費	34,795,200	31,623,000	3,172,200	投稿論文増傾向
	会誌別刷印刷費	2,743,200	2,592,000	151,200	
	会誌執筆謝礼	456,000	510,000	▲54,000	
	会誌発行諸経費	1,100,000	1,400,000	▲300,000	
	全国大会開催費	7,400,000	7,770,000	▲370,000	
	セミナー開催費	2,248,876	2,448,000	▲199,124	
	研究会、他開催費	5,439,010	4,940,000	499,010	自主運営化
	広報活動費	300,000	300,000	0	
	表彰費	200,000	120,000	80,000	共著者増傾向
	会議費	660,000	600,000	60,000	
小 計	55,342,286	52,303,000	3,039,286		
管 理 費	家賃	2,715,000	3,508,000	▲793,000	契約更改なし
	共益費	482,000	482,000	0	
	光熱費	330,000	330,000	0	
	リース料他	3,140,000	1,420,000	1,720,000	OASYS, 光ディスク
	機械修理費	100,000	40,000	60,000	20,000×5
	什器備品費	200,000	50,000	150,000	椅子、書棚
	会議費	950,000	950,000	0	
	旅費交通費	220,000	200,000	20,000	
	通信費	3,000,000	3,400,000	▲400,000	E-mail効果
	印刷費	1,000,000	1,300,000	▲300,000	同 上
	消耗品費	1,800,000	1,600,000	200,000	
	倉庫管理費	340,000	450,000	▲110,000	3/Q 末倉庫解約
	給料手当等	14,726,060	15,060,000	▲333,940	局長交代、
	臨時雇用費	2,500,000	1,500,000	1,000,000	入金管理、文書
	支払い手数料	60,000	50,000	10,000	7741ソグ
	雑費	400,000	200,000	200,000	⑩10,000×20
	資料購入費	25,000	25,000	0	
	研修費	20,000	20,000	0	
	諸会費	90,000	85,000	5,000	
	O A強化費	4,090,000	100,000	3,990,000	会員管理システム
	会費引落手数料	100,000	100,000	0	更新
	保険料	5,000	5,000	0	
	福利厚生費	1,600,000	1,550,000	50,000	
小 計	37,893,060	32,425,000	5,468,060		
阪神大震災被災者へ会費免除		264,000	0	264,000	
IJCAI-95若手参加者へ旅費補助		200,000	0	200,000	
積 立 金 繰 入	10周年記念事業積立金	1,000,000	0	1,000,000	
	国際会議積立金	0	1,500,000	▲1,500,000	
	事務所整備積立金	200,000	200,000	0	
	退職金引当金	330,000	300,000	30,000	
	会費未納除却分引当金	0	1,500,000	▲1,500,000	
	名簿発行準備金	500,000	0	500,000	
	小 計	2,030,000	3,500,000	▲1,470,000	
予備費		400,000	400,000	0	
当期支出合計		96,129,346	88,628,000	7,501,346	
次期繰越収支差額		15,552,274	19,428,371	▲3,876,097	
支 出 合 計		111,681,620	108,056,371	3,625,249	

注：当期収支差額は▲2,473,286である。

# 1995年度人工知能学会役員構成（案）

役名	新/再任	氏名	最終学歴・卒年	勤務先
会長	留任	堂下 修司	京大（博） 63	京都大学/工学部情報工学科教授
副会長	留任	田中 英彦	東大（博） 70	東京大学/工学部電気工学科教授
副会長	新任	森 健一	東大 62	（株）東芝/パーソナル情報機器事業本部長
理事	新任	井上 憲太	京大（修） 63	トヨタ自動車（株）/取締役
理事	新任	大田 友一	京大 72	筑波大学/電子情報工学系教授
理事	新任	岡 隆一	東大（修） 70	技術研究組合新情報処理開発機構/理論・新機能研究部長
理事	留任	上林 憲行	慶大（博） 80	富士ゼロックス（株）/システム・コミュニケーション研究所主幹研究員
理事	留任	河田 勉	九大 71	（株）東芝/Advanced-I事業推進企画室担当部長
理事	留任	樽松 明	早大 61	電気通信大学/電気通信学部電子工学科教授
理事	新任	坂間 保雄	慶大 70	日本電信電話（株）/情報通信研究所知の情報処理研究部長
理事	新任	佐藤 雅彦	東大（修） 73	東北大学/電気通信研究所教授
理事	留任	白井 克彦	早大 63	早稲田大学/理工学部情報学科教授
理事	新任	鈴木 隆一	京大（修） 72	（株）日立製作所/中央研究所副所長
理事	留任	諏訪 基	東大 68	電子技術総合研究所/情報科学部長
理事	新任	田中 秀雄	慶大（修） 73	東京電力（株）/システム研究所A I研究室長
理事	留任	土居 範久	慶大（博） 69	慶應義塾大学/理工学部電気工学科教授
理事	留任	中野 宣邦	MIT（修） 72	新日本製鐵（株）/エレクトロニクス研究所電子システム研究部長
理事	留任	羽下雄之輔	横浜国大 64	沖電気工業（株）/研究開発本部マルチメディア研究所長
理事	新任	溝口理一郎	阪大（博） 77	大阪大学/産業科学研究所教授
理事	新任	山本 昌弘	阪大 66	日本電気（株）/C & C研究所長
監事	留任	田中千代治	川大（修） 70	三菱電機（株）/情報システム研究所参与
監事	新任	棚橋 純一	名大 63	（株）富士通研究所/パーソナルシステム研究所長

（理事は五十音順、敬称略）

# 1994年度末退任役員

副会長	佐藤 繁	(株)富士通研究所／取締役社長
理事	飯沼 一元	日本電気(株)／研究開発本部長
理事	小林 重信	東京工業大学／総合理工学研究科教授
理事	庄子 幹雄	鹿島建設(株)／常務取締役
理事	白井 良明	大阪大学／工学部電子制御機械工学科教授
理事	高橋 栄	(株)日立製作所／情報・通信開発本部長
理事	廣田 幸嗣	日産自動車(株)／総合研究所電子研究所長
理事	村岡 洋一	早稲田大学／理工学部情報学科教授
理事	山崎 正人	松下電器産業(株)／マルチメディアシステム研究所
		参事企画推進グループリーダー
理事	和佐野哲男	(株)国際電気通信基礎研究所／経営企画部長
監事	磯本 能彬	東京電力(株)／技術開発本部部长

(五十音順、敬称略)



# 1995年度評議員構成(案)

大学関係 30名  
 国立・公立機関関係 7名  
 企業関係 2名  
 合 計 69名

浅川 雄	留任	(株)富士通研究所知識処理研究部
阿部 圭一	再任	静岡大学工学部情報知識工学科
雨宮 真英	再任	九州大学大学院総合理工学研究科
藤田 則夫	再任	名古屋工業大学工学部知能情報システム学科
池田 克将	再任	京都大学工学部情報工学教室
石井 義則	再任	(株)フジタ技術研究所生産技術研究部
石川 亨	留任	日本デジタルハイブリッド(株)研究開発センター国際システム開発部
石塚 満	再任	松下電器産業(株)東京情報システム研究所
石塚 孝一	再任	京都大学工学部情報工学教室
原 寛	再任	東京大学工学部電子情報工学科
辺 善英	再任	拓殖大学工学部情報工学科
垣 康仁	再任	(株)日立製作所ソフトウェア開発本部
宇 昌俊	再任	名古屋大学工学部情報工学科
植村 一平	新任	富士通(株)計算科学研究センター第二研究部
内 俊	再任	沖電気工業(株)研究開発本部研究企画室
大 直	再任	(財)新世代コンピュータ技術開発機構研究所
岡 修	再任	九州工業大学情報工学部知能情報工学科
井 北	新任	九州工業大学情報工学部知能情報工学科
北 泰忠	留任	京都大学工学部精密工学教室
木 哲夫	留任	(株)東芝府中工場重電技術研究所システム技術開発部
空 起	留任	富士通(株)システム事業推進本部システム技術統括部
関 進	留任	大阪大学産業科学研究所
藤 滋	留任	沖電気工業(株)マルチメディア研究所
後 千	再任	シャープ(株)情報技術研究所
塩 干	新任	北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科
白 郎	留任	日本電信電話(株)ソフトウェア研究所基礎技術研究部
末 直史	留任	名古屋大学工学部情報工学科
田 浩一	留任	日本たばこ産業(株)人事労働グループ人事部
村 理一	留任	東北大学電気通信研究所
高 寛	留任	(株)東芝システムソフトウェア生産技術研究所開発第1部
滝 野	留任	花王(株)知識情報科学研究所
寺 義夫	留任	北海道大学工学部電機工学科
戸 順一	留任	電子技術総合研究所
豊 秀	新任	新日本製鐵(株)エレクトロニクス研究所電子システム研究センター
中 亨	留任	(株)豊田中央研究所研究7部
西 章	留任	三菱電機(株)設計システム技術センター設計部第2G
尾 治	留任	筑波大学大学院経営システム科学専攻
本 和	留任	日本アイ・ビー・エム(株)ITコンサルティング事業部
八 賀	再任	大阪大学産業科学研究所
早 馬	再任	電子技術総合研究所・協調アーキテクチャ計画室
原 潔	留任	(株)東芝東京システムセンターシステム開発部
原 広一	留任	大阪大学工学部情報システム工学科知識システム工学講座
坂 康	留任	国際電信電話(株)KDD研究所網管理グループ
川 一	留任	(財)鉄道総合技術研究所輸送・情報研究部
堀 文	留任	(株)野村総合研究所IT研究センター
増 位	留任	日本ユニシス(株)知識システム部
増 功	留任	東京工業大学大学院総合理工学研究科システム科学専攻
田 元	再任	(財)電力中央研究所情報研究所情報科学部
本 裕	留任	東京大学工学部電子情報工学科
山 隆	留任	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
室 中	留任	東京大学工学系研究科先端学際工学専攻
原 一	留任	九州大学工学部情報工学科
木 文	留任	(株)日立製作所ソフトウェア開発本部市場開発センター
村 正	留任	セコム(株)IS研究所ハック情報処理研究部
溝 正	留任	鹿島建設(株)情報システム部
口 文	留任	奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科
内 一	留任	岡山大学工学部情報工学知能計算機工学研究室
庄 功	留任	三井東洋科学(株)生産本部
田 裕	留任	日本電気(株)情報メディア研究所音声言語研究部
本 隆	留任	東京理科大学理工学部経営工学科
山 中	留任	(株)東芝情報・通信システム研究所
室 一	留任	中京大学情報科学部
原 至	留任	大阪大学基礎工学部システム工学科
木 文	留任	(株)三菱総合研究所
村 正	留任	福岡工業大学工学部言語情報工学研究部
溝 正	留任	工学院大学電子工学科
口 文	留任	(株)リコー情報通信研究所
南 正	留任	日本電信電話(株)情報通信網研究所基本アーキテクチャ研究部
三 正	留任	日本電気(株)C&Cシステム研究所ソフトウェア研究部
谷 正	留任	
山 正	留任	
崎 正	留任	
田 正	留任	
横 正	留任	
淀 正	留任	
川 正	留任	
米 正	留任	
和 正	留任	
渡 正	留任	

(五十音順、敬称略)

# 1994年度末退任評議員

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 岩井 正三 | 三菱原子力工業(株) テクノ・システム部       |
| 江連 久  | (株) 東芝重電技術研究所システム技術開発部     |
| 河岡 司  | 日本電信電話(株) コミュニケーション科学研究所   |
| 河野 毅  | (株) 東芝東京システムセンター           |
| 小西 正躬 | (株) 神戸製鋼所電子技術研究所           |
| 小山 照夫 | 学術情報センター研究開発部              |
| 後藤 敏  | 日本電気(株) 情報メディア研究所          |
| 佐藤 泰介 | 電子技術総合研究所知能情報部推論研究室        |
| 高木 朗  | (株) C S K 技術開発本部自然言語研究室    |
| 辻 秀一  | 三菱電機(株) 情報システム研究所システム技術開発部 |
| 中筋 俊輔 | 第一勧業銀行システム部                |
| 中村孝太郎 | 日本たばこ産業(株) 友部工場            |
| 三上 市蔵 | 関西大学工学部土木工学科               |
| 溝口理一郎 | 大阪大学産業科学研究所電子機器部門          |
| 柳生 孝昭 | 日本ユニシス(株)                  |

<五十音順、敬称略>

© 1995

社団法人 人工知能学会

J S A I ( Japanese Society for Artificial Intelligence )  
OS Bldg. 402, 4-7 Tsukudomachi, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan  
TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

---

1995年度第10回通常総会資料

---

発行日：1995年6月23日

発行所：社団法人 人工知能学会

〒162 東京都新宿区津久戸町4-7 OSビル402

TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

印刷所：(有)三広印刷

〒107 東京都港区赤坂2-19-5 内田ビル2F

TEL. 03-3584-5348 FAX. 03-3505-4688